



令和元年度第2回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会  
日時：令和2年1月24日

平成29年～令和元年度 厚生労働科学研究 肝炎等克服政策研究

# 肝炎ウイルス検査受検から受診、受療に至る肝炎対策の効果検証と拡充に関する研究

研究代表者 佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター  
江口 有一郎



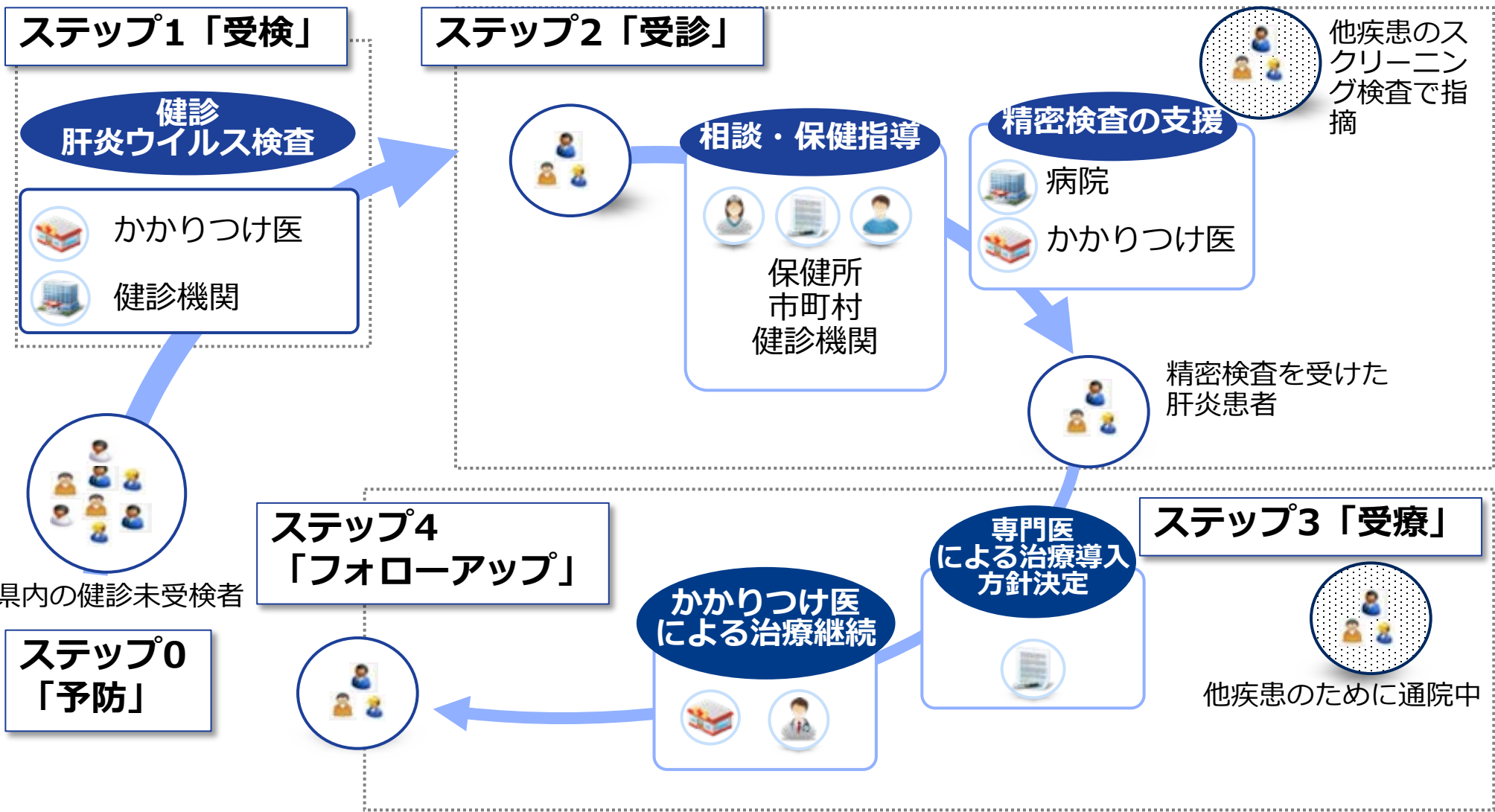
# 肝炎ウイルス検査受検から受診、受療に至る 肝炎対策の効果検証と拡充に関する研究

## 肝炎ウイルス検査受検から受診、受療に至る肝炎対策

- ①効果検証
- ②拡充

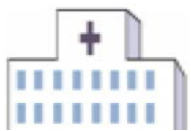
# 肝硬変、肝がんを減らす肝疾患診療連携エコシステム

- ① 受検～受診～受療に至る肝炎対策システムの効果検証
- ② システムのスループットを上げる人材育成の取り組みを強化



# 研究班

拠点病院部門



ソリューション部門

先行研究部門

両立支援部門

肝炎情報センター



現場対策チーム

管理者対策チーム

施策対策チーム

## 拠点病院と自治体での効果検証

受検～FUの  
現状調査設計・  
自治体選定(質  
的調査)・調整

自治体・拠点病院 現状調査  
(都道府県・市町村・医療機関)

効果検証  
(対策の同定と評価)

・課題の構造化  
・打ち手の外挿・活用

## 行動科学やソーシャルマーケティング 手法を応用した調査と対策

肝炎医療Co・相談員等 調査  
(質的調査・量的調査)

肝炎Coや相談員、医師等が「誰に(Who)・何  
を(What)・いつ(When)・どのように(How)」  
支援することが有意義か、また活躍するCo  
のセグメントを同定

一般市民・患者調査  
(質的・量的調査)

拠点病院・一般医療機関・専門医  
医師調査(質的・量的調査)

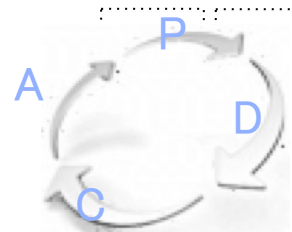
一般市民・患者の事例とニーズの調査、対策のフィッティング

対象地域・拠点病院の拡大  
受検～FUの推進システムの拡充・肝炎医療Co等使いたくなる教育システム構築

パイロット運用・モデル地区での検証

パイロット運用・モデル地区での改修

全国展開と実情に合わせた改修



# 成果

・受検率  
・受診率  
・受療率  
・FU率  
の向上につ  
ながら各種  
成果物の開  
発

地域性を  
考慮した  
提言

海外への  
技術移転

他疾患への活  
用  
(H.ピロリ)

← 平成29年度 → ← 平成30年度 → ← 令和元年度 →



今年度の研究計画



前年度までに完了



最終年度に実施

# 肝炎医療コーディネーターの 養成・活動の現状

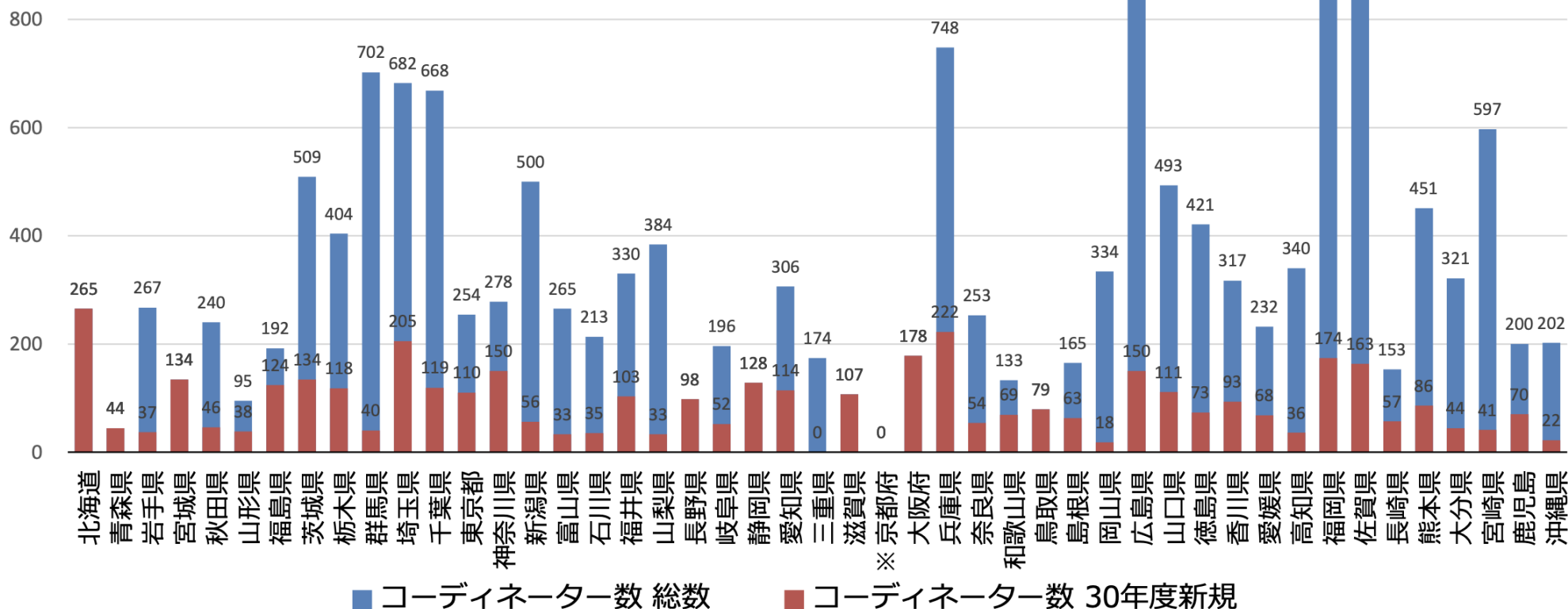
# 肝炎医療コーディネーターなどの養成数

(人)

## 事業概要

都道府県は、市町村の保健師、地域の医療機関の看護師、職域の健康管理担当者などで、肝炎に関する情報の説明、肝炎ウイルス検査後のフォローアップや受診勧奨などの支援を行う人材を養成する。

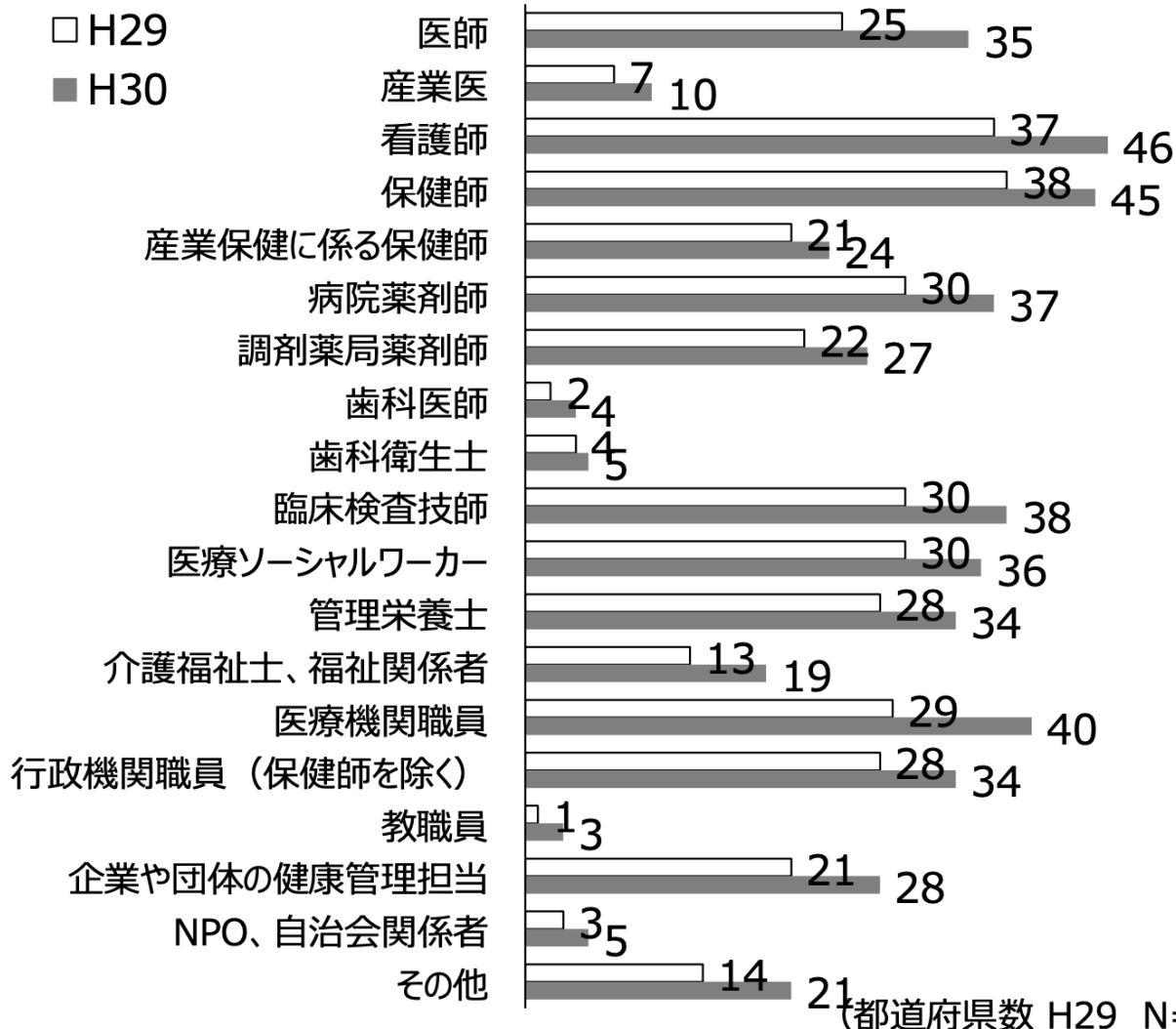
**46都道府県で計16,543名の  
肝炎医療コーディネーターなどを養成**



※京都府については、平成30年度に養成研修を行い、令和元年度に認定。

# 肝炎医療コーディネーターの職種（平成30年度）

○肝炎医療コーディネーターの養成を行う都道府県の増加により、平成29年度より全体的に増加している。



（都道府県数 H29 N=39 H30 N=46）

## 患者の参画状況

コーディネーターとして養成 **20** (10)  
 研修会の講師 **14** (11)

（都道府県数）  
 ※括弧内はH29年度

### 【参考】

肝炎医療コーディネーターの養成及び活動について  
 （健発0425第4号平成29年4月25日厚生労働省健康局長通知）抄

### 5. 肝炎医療コーディネーターの養成

#### (1) 対象者

- 肝炎患者やその家族が肝炎医療コーディネーターとなり、当事者の視点で支援にあたることも有意義と考えられる。

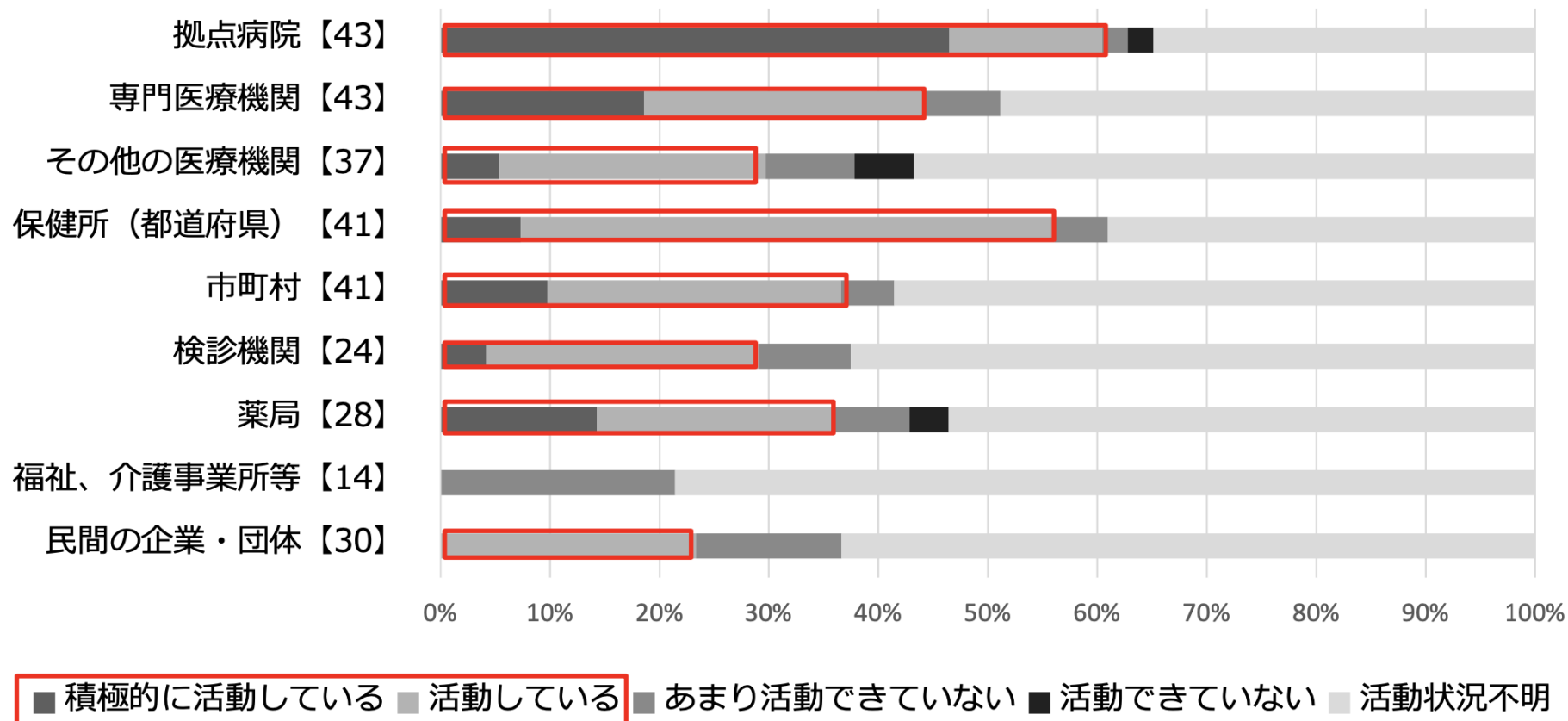
#### (2) 内容

- 肝炎医療コーディネーターには、患者等の気持ちを理解し、それに共感する姿勢と技術が求められる。患者の権利擁護、差別や偏見の防止とともに、個人情報取り扱いについても理解する。必要に応じ、患者やその家族の話を直接聞く機会を設けることなども検討されたい。

# 肝炎医療コーディネーターの活動場所と活動度合（平成30年度）

○コーディネーターの活動度合が、拠点病院や保健所で高いと評価している都道府県が多い。

- 【 】内は、当該場所に肝炎医療コーディネーターを配置している都道府県の数（n=46）
- 活動度合は、各都道府県による評価





# 全国一斉調査の実施と展開

謝辞： 岩手県、山梨県、佐賀県による全面協力により実施し、全47都道府県から回答を得ることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

# 全国都道府県へ一斉現状調査を実施、47都道府県から回答 A4サイズ全30ページの冊子として、全国自治体等へ情報提供（1048部）

平成30年度 厚生労働省行政推進調査事業費補助金(肝炎等克服政策研究事業)

「肝炎ウイルス検査受検から受診、受療に至る  
肝炎対策の効果検証と拡充に関する研究」

## 肝炎医療コーディネーター 養成に関する要網の 全国都道府県アンケート 調査のまとめ

- I 肝炎医療コーディネーター養成の要網について
- II 肝炎医療コーディネーター養成の講習会について
- III 肝炎医療コーディネーター養成の現状について

平成31年 1月

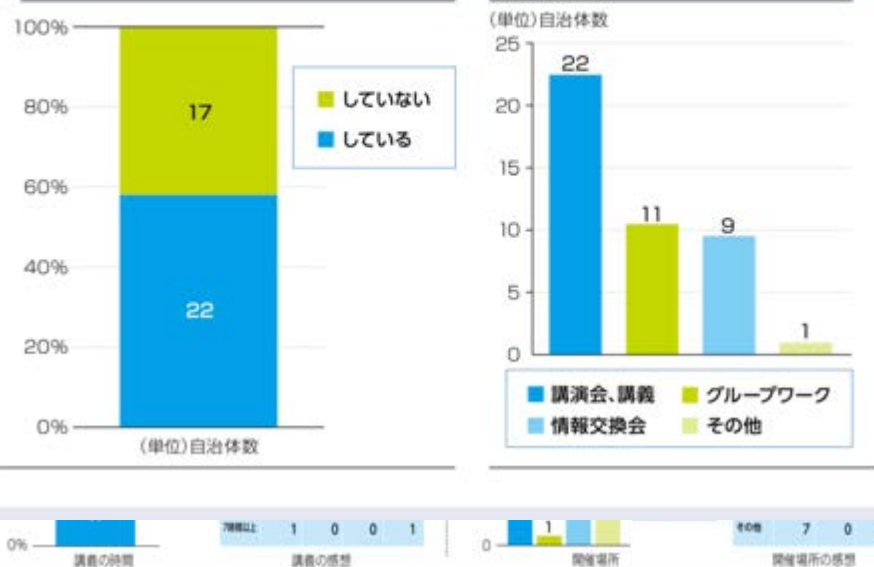
研究代表者 江口 有一郎

【位置大学医学部附属病院 肝炎センター】

項目	要網に有り	取決に有り	無	小項目あり	回答した自治体の総数
1 肝Coを養成しているか	43(91.5)		4		47
2 肝Coの養成に関する要網を作成しているか	41(95.3)	2(4.7)	4		47
3 要網の内容は通知に準じて作成・更新されているか	32(76.2)		10		42
4 養成目的	40(95.2)		2		42
5 定義	23(56.1)		17		41
6 認定要件	38(90.5)		4		42
7 認定要件として、資格や職種	28(66.7)	4(9.5)	10	有	42
8 施設や職業、職場	17(40.5)	1(2.4)	23	有	41
9 認定条件	35(83.3)	5(11.9)	2	有	42
10 認定証等の交付	35(83.3)	6(14.3)	1	有	42
11 認定証交付者	30(71.4)	7(16.6)	5	有	42
12 肝Co認識のツール作成、提供についての記載	16(38.1)	9(21.4)	17	有	42
13 更新	13(31.0)	2(4.8)	27	有	42
14 ランク制度	3(7.5)	2(5)	35	有	40
15 スキルアップ	26(61.9)	4(9.5)	12	有	42
16 スキルアップの実施方法	18(42.9)	5(11.9)	19	有	42
17 支援について	29(69.0)	3(7.1)	10	有	42
18 活動報告書の提出に関して	19(45.2)	3(7.1)	20	有	42
19 守秘義務	28(66.7)	2(4.8)	12		42
20 認定者の周知方法	21(50.0)	5(11.9)	16	有	42
21 活動内容	31(73.8)	3(7.1)	8	有	42
22 活動の実績の評価の仕組み(KPI)	1(2.4)	1(2.4)	40	有	42
23 辞退について	30(71.4)	2(4.8)	10		42
24 事業主体について	24(57.1)	4(9.5)	14		42
25 事業の委託先について	10(24.4)	3(7.3)	28		41
26 肝Coの管理について	25(59.5)	2(4.8)	15		42
27 名簿やリストの有無について	27(65.9)	14(34.1)		有	41
28 その他の規定、取り決めがあるか	7(17.1)	1(2.4)	33	有	41

\*赤は過半数を超えた項目

## 11.スキルアップ、フォローアップ研修会を行っているか



項目	あり	なし
1 肝Co向けの患者説明用の啓発資料	22(46.8)	25
2 活動マニュアルの作成	1(2.1)	46
3 各県と拠点病院との連携に関して	38(90.5)	4
4 県と拠点病院の連携の工夫	—	—
5 肝Co活動の優良事例の把握とその方法	12(33.3)	26
6 現場の状況や阻害要因の把握	10(25.6)	29
7 活動支援の工夫	—	—
8 養成や活用でよかった点	—	—
9 養成や活用で困った点、トラブル	—	—
10 研究班で示してほしいマニュアルや研修内容、ツール等の要望	—	—
11 肝Coに期待する事	—	—

**質問項目1** 肝炎医療コーディネーター向けの患者さんに説明するための啓発資料について  
22の自治体で肝炎医療コーディネーター向けの患者さんに説明するための啓発資料を配布していた。

**質問項目2** 肝炎医療コーディネーター活動マニュアルを作成していますか  
1の自治体で肝炎医療コーディネーター活動マニュアルを作成していた。

**質問項目3** 各県と拠点病院との連携について  
38の自治体で各県と拠点病院との連携のためのミーティングを行っていた。

**質問項目4** 肝炎医療コーディネーター養成において各県と拠点病院がうまく連携する工夫があれば記載ください

- ・肝炎医療コーディネーターに関する取り決めや研修会の開催等についての合同協議や役割分担
- ・自治体から拠点病院の医師や看護師への養成研修会等の講師の協力依頼
- ・養成研修会開催作業の分担依頼
- ・定期的なミーティング、課題の共有

**質問項目5** 肝炎医療コーディネーターの活動について優良事例の把握されていますか  
どのような方法で把握されていますか

- ・肝炎医療コーディネーターが在籍する医療機関への聞き取り
- ・スキルアップ研修会や情報交換会での現場の状況の把握
- ・アンケートによる調査
- ・報告書の提出
- ・把握した優良事例は養成研修会の場で紹介してる
- ・年に1度提出している活動状況報告で把握している

**質問項目8** 肝炎医療コーディネーターの養成や活用で良かった点があれば御記入ください

- ・肝炎に関する理解が深まり、業務内での活用が期待される
- ・肝炎の取り組みに繋がっている
- ・肝炎の啓発に繋がる
- ・公費助成制度を質医療従事者が増える
- ・行政の担当が増える、行政職員の能力向上、フォローアップへの関心度アップ
- ・肝炎対策に関わる機関や職種の拡大
- ・積極的に取り組んでいる専門医療機関の活動を知るきっかけになる

**質問項目9** 肝炎コーディネーターの養成や活用で困っている事やトラブル等があれば御記入ください

- ・スキルアップ研修会を受けない
- ・積極的に活動している人が少ない
- ・具体的な活動方法を示せない
- ・活動に対するインセンティブがない
- ・異動や退職により活動が継続できない
- ・KPIが不明確
- ・知名度が低い
- ・養成している職種以外の新たな職種の肝炎医療コーディネーターの養成
- ・肝炎医療コーディネーター養成研修会の受講を希望する所属機関が少ない

## ②人材育成

### 現状

肝炎医療コーディネーター（Co）は、肝疾患の啓発や情報発信、拾い上げ、抗ウイルス治療の受療率向上のために、全国で養成が進んでいる。  
（H30年度から47都道府県で養成）（H29年度12,425名）

### 課題

- ・ Coの養成や活躍には課題が多い
- ・ 活動や実態は把握できていない

#### 1. 質的調査

全国で実際に活動するCoや活動に関わる行政、拠点病院等の医療関係者を対象とした半構造化面接

- ✓ 医療サイドで15道県のべ124名
- ✓ 市民・患者サイドで4県26名

#### 2. 量的調査

全国47都道府県を対象に、肝炎医療コーディネーターの養成やスキルアップ等に関する要綱や内容についてのアンケート

- ✓ 47都道府県より回答を得た

# 肝炎医療Coはマトリックスごとの課題やニーズがある

## 地域の肝炎対策で活動できている

### 延長線型

- ◆ 自治体の保健師
- ◆ 連携室の看護師、MSW

「業務の一環だから当然」  
「それとなく経過を聞く」

ビッグイベント型  
ステルス型  
コツコツ型  
昇華型

- ◆ 病院の肝炎チームの幹部
- ◆ 拠点病院や肝臓専門医療機関の医療従事者

「陽性結果を一番最初に知るのは検査技師の自分」  
「医師のサポートのために数値を計算しておく」

## 意識して いない

- ◆ 消化器・肝臓以外の病棟看護師
- ◆ 肝疾患に関わりの薄い所属の医療従事者

「研修は受けたんだけど肝炎に関わりがない」  
(と認識している)

## 自分はCoである と意識している

- ◆ 外来・病棟看護師
- ◆ 上司や機関の理解が得られない医療従事者

「何かしたいけど、日常業務で追われている」  
「執行部における優先順位が低い」

### 幽霊部員型

### モヤモヤ型

## 活動できていない

# 肝炎医療Coはセグメントに区分され、それぞれの課題やニーズがある

## 地域の肝炎対策で活動できている

### 延長線型

- ◆ 自治体の保健師
- ◆ 連携室の看護師、MSW

ニーズ  
ツール  
最新情報  
専門医との連携

### ビッグイベント型    コツコツ型    ステルス型    昇華型

- ◆ 病院の肝炎チームの幹部
- ◆ 拠点病院や肝臓専門医療機関の医療従事者

ニーズ  
所属組織の理解  
ツール  
他地域との交流  
スキルアップの機会

意識して  
いない

自分はCoである  
と意識している

### 幽霊部員型

- ◆ 消化器・肝臓以外の病棟看護師
- ◆ 肝疾患に関わりの薄い所属の医療従事者

ニーズ  
日常業務における肝炎対策の意義の認識  
→マインドセットの獲得

### モヤモヤ型

- ◆ 外来・病棟看護師
- ◆ 上司や機関の理解が得られない医療従事者

ニーズ  
所属組織、上司の理解  
機会・具体的方法  
ツール

活動できていない

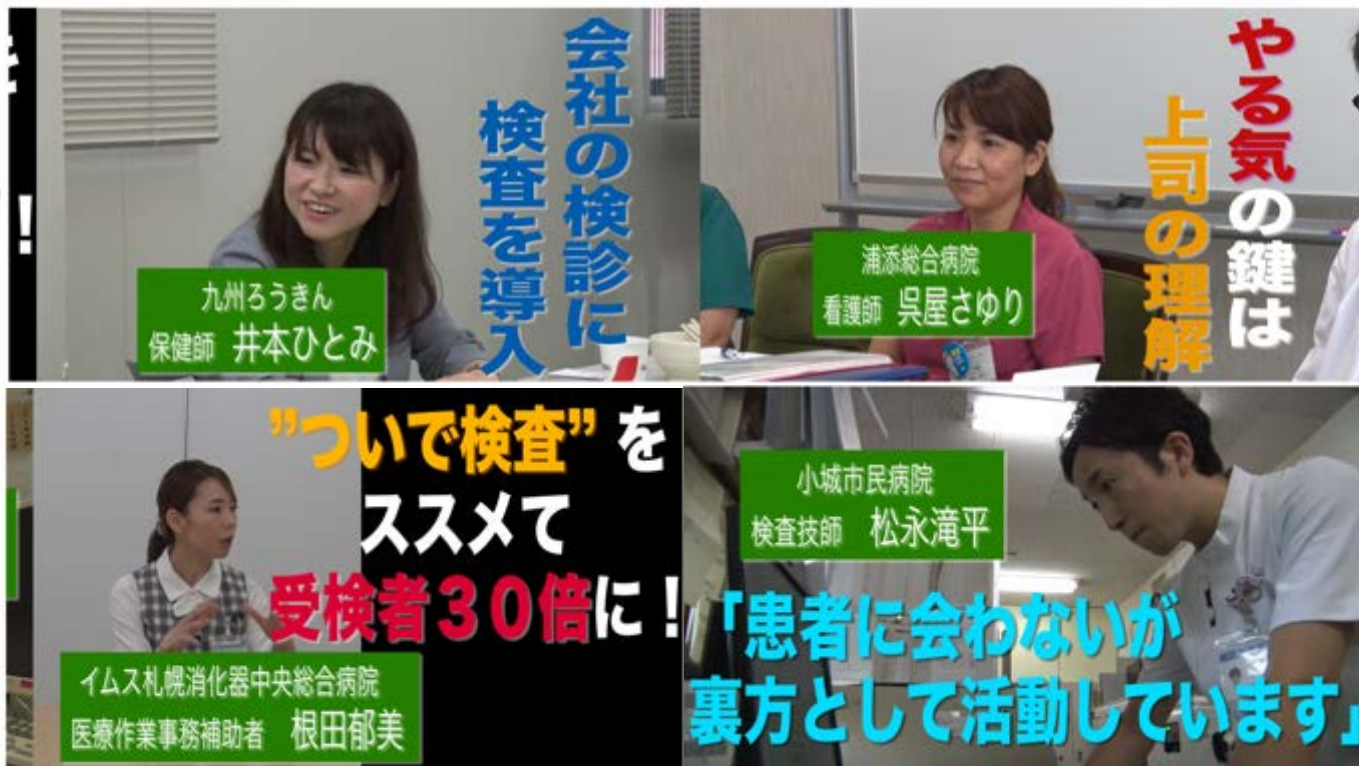
医療従事者向け肝炎医療コーディネーター班活動支援サイトはこちら



## 活動事例コンテンツ

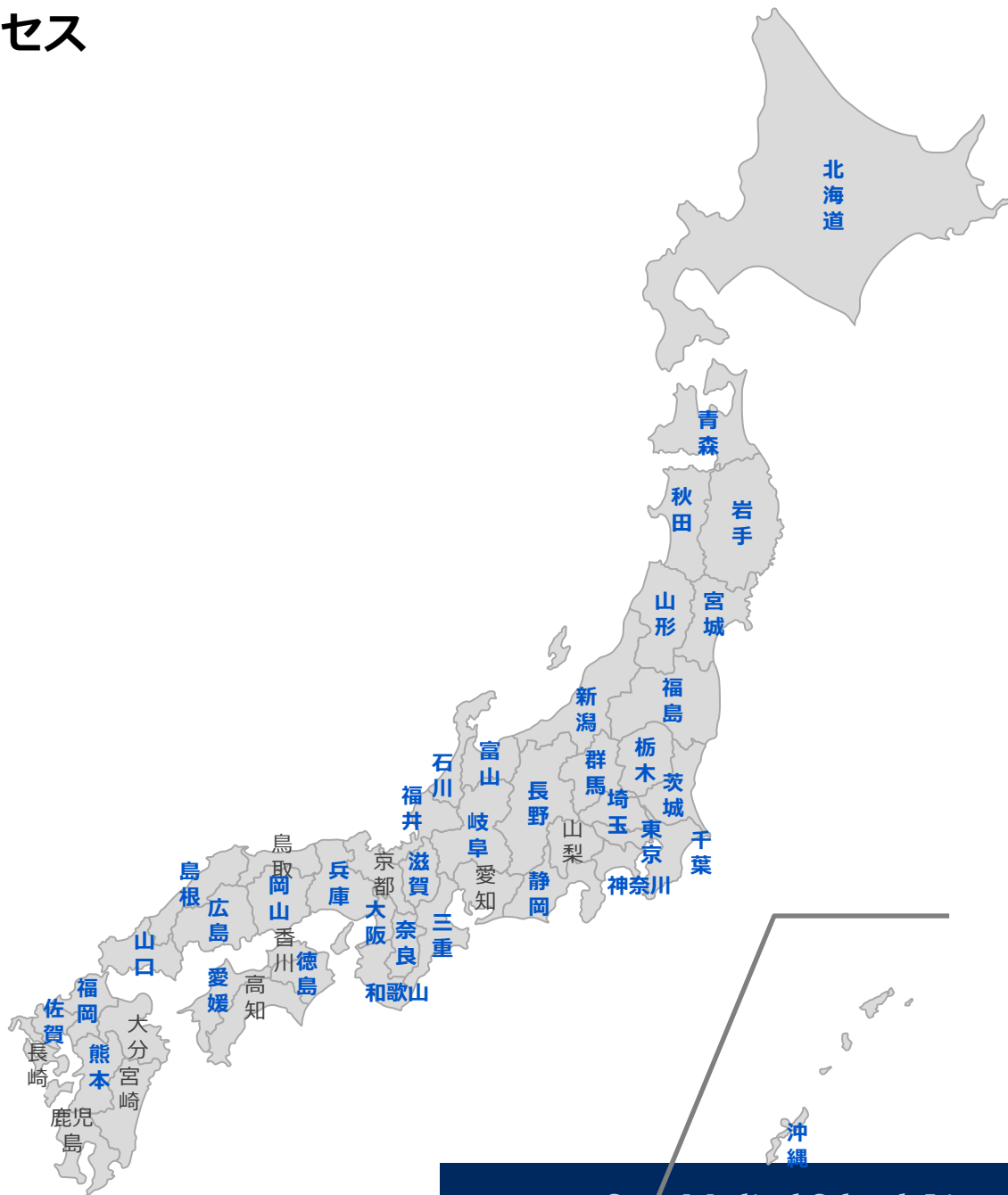
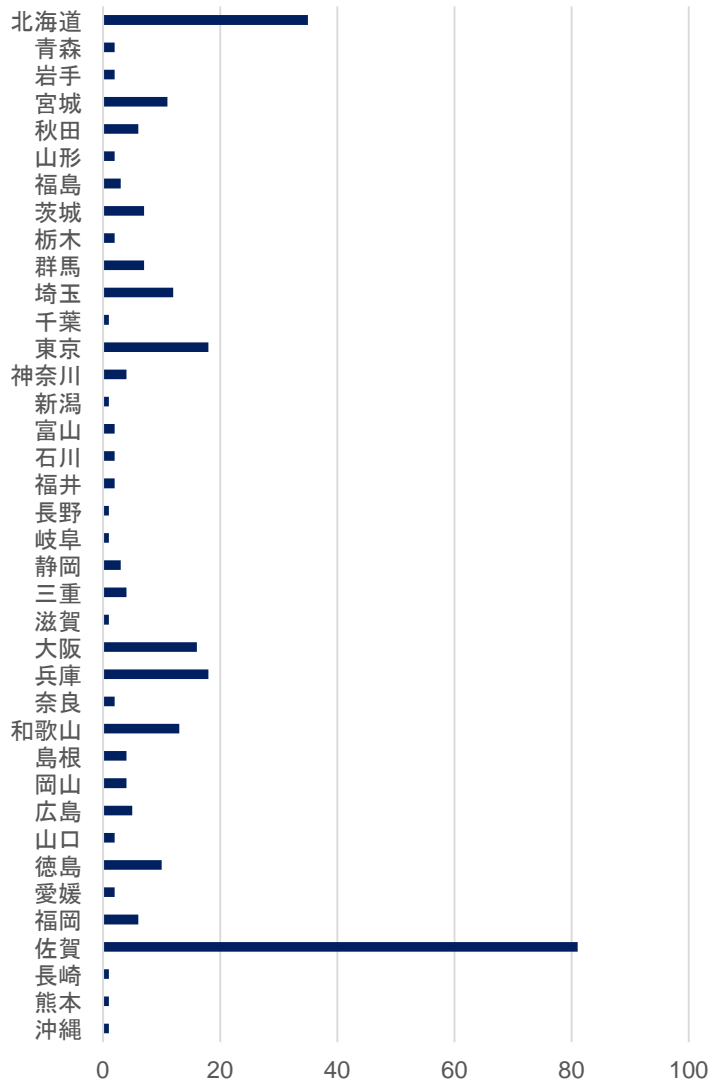
<https://kan-co.net/index.html>

各画像をクリックするとYoutubeサイトで動画を開きます。



# 2019/4~2019/12 295アクセス

アクセス数





# パイロット地区での動画教材を用いた具体的活動に関する講習と 受講アンケート、ヒアリングを実施し、多職種の活動想起に寄与

日時	場所	名称	参加者数
2018.5.26	静岡県	静岡県医療従事者研修会	71名
2018.7.13	全国	拠点病院連絡協議会	-
2018.7.20	岩手県	岩手県肝疾患アドバイザー研修会	45名
2018.7.24	北海道	札幌医療従事者講演会（道内web中継あり）	85名
2018.8.24	香川県	香川県肝炎医療従事者研修会	45名
2018.9.8	兵庫県	兵庫県医療従事者研修会	91名
2018.9.10	佐賀県	佐賀県薬剤師会講演会	150名
2018.9.14	福岡県	福岡県肝炎医療Co研修会（複数回）	241名
2018.11.18	佐賀県	佐賀県肝炎医療Co養成研修会	163名
2018.11.29	島根県	島根県肝炎医療Co研修会	43名
2018.12.5	大阪府	大阪肝炎医療従事者セミナー（近畿大）	30名
2018.12.9	滋賀県	滋賀県肝炎医療Co養成研修会	110名
2018.12.10	岡山県	倉敷肝炎医療従事者研修会	74名
2018.12.15	東京都	全国肝炎サミット	100名
2019.2.7	佐賀県	医療従事者研修会	65名
2019.2.10	佐賀県	佐賀県眼科医会スタッフ研修会	88名
			のべ1,401名以上

# パイロット地区での動画教材を用いた具体的活動に関する講習と 受講アンケート、ヒアリングを実施し、多職種の活動想起に寄与

日時	場所	名称	参加者数
2019.4.16	埼玉県	医療従事者研修会	66名
2019.4.20	京都	医療従事者研修会	32名
2019.5.30	東京都	日本肝臓学会総会イブニングセミナー	133名
2019.6.7	北海道	胆振地区学術講演会	62名
2019.7.6	福岡県	学術講演会	36名
2019.7.19	新潟県	Co養成研修会	88名
2019.7.23	北海道	医療従事者研修会	38名
2019.8.6	北海道	Co研修会	32名
2019.9.5	東京都	肝炎医療Coスキルアップ研修会	46名
2019.10.19	佐賀県	医師事務作業補助者研修会	35名
2019.12.1	佐賀県	佐賀県肝炎医療Co養成研修会	245名
2019.12.5	長崎県	島原地区学術講演会	45名
2019.12.8	滋賀県	肝炎医療Co養成研修会	100名
			のべ958名以上



**はじめに**

このポケットマニュアルは、全国様々な地域やフィールドで活動する肝炎医療コーディネーターの方々など、肝炎患者に関わる医療従事者の皆さんが日常業務でご活用いただけるように「予防」、「受検」、「受診」、「受療」、「フォローアップ」などから特に頻度が高いウエスチョンと簡単な答えとポイントを記載しています。

ご自分の業務に見合った内容を選んで「Myマニュアル」としてご利用ください。

厚生労働省研究費補助金肝炎等ウイルス感染症研究事業「肝炎ウイルス感染症受療から受診、受療に至る肝炎対策の効率化と患者に関する研究」研究代表者 国立国際医療研究センター 肝炎センター 主任助産師・センター長 江口有一郎

●執筆協力 (順不同、敬称略)

小川 浩司 (北海道大学病院 消化器内科)  
 坂本 雅 (山形大学医学部附属病院 消化器内科)  
 安藤 裕彦 (順天堂大学医学部附属病院 消化器内科)  
 小林 真正 (昭和医科大学内科 第二講座)  
 野々原 聡夫 (福井県済生会病院 肝臓・消化器内科)  
 小野 正文 (岡山大学医学部附属病院 内臓器診療部)  
 池田 真澄 (岡山大学病院 消化器内科)  
 鈴木 聡 (山口大学医学部附属病院 肝炎センター)  
 藤巻 夕美 (埼玉大学医学部附属病院 肝炎センター)  
 米澤 敦子 (東京肝臓学会)  
 本間 浩一 (大分大学医学部 消化器内科)  
 井出 達也 (立命館大学 消化器内科)  
 前城 達次 (琉球大学医学部附属病院 第一内科)

●企画制作 キャンパー・ソリューションズ株式会社 ●Illustration いとう 孝典

●2 厚生労働省研究費補助金肝炎等ウイルス感染症研究事業「肝炎ウイルス感染症受療から受診、受療に至る肝炎対策の効率化と患者に関する研究」2019年12月30日版

**もくじ**

**肝炎について (予防・受検・受診・治療・フォローアップ)**

1 肝炎のごとで相談したいのですが… 5  
 2 B型肝炎やC型肝炎とは何でしょうか? 7  
 3 感染しているかどうかはどのような検査をしますか? 9  
 4 肝炎ウイルス検査の結果が「陽性」でした。 11  
 5 本当に治療が必要でしょうか? 13  
 6 治療を受けることになりました。不安でいっぱいです。 15  
 7 一通り治療が終わったので、もう安心です。 17

**B型肝炎について 肝硬変について 肝がんについて**

8 B型肝炎は、遺伝するのでしょうか? 19  
 9 肝硬変と診断されました。 21  
 10 肝がんと診断されました。 23

**血液検査について 医療費について**

11 血液検査で何が分かるのでしょうか?—その① 25  
 12 血液検査で何が分かるのでしょうか?—その② 27  
 13 医療費が心配です。 29

●コーディネーター ポケットマニュアル ●3

**もくじ**

**生活について (日常生活・仕事・食事・患者会)**

14 日常生活で気をつけることはありますか? 31  
 15 治療をしながら仕事は続けられますか? 33  
 16 職場には、どう伝えればよいでしょうか? 35  
 17 治療と仕事を両立するために、相談できる場所はありますか? 37  
 18 職場の食事でご気をつけることはありますか? 39  
 19 肝硬変と言われています。気をつけることはありますか? 41  
 20 夜食を勧められました。なぜですか? 43  
 21 同じ経験をした人の話を聞いてみたい。 45

**B型肝炎フローチャート C型肝炎フローチャート**

22 B型肝炎は、どのように進行しますか? 47  
 23 C型肝炎は、どのように進行しますか? 48

**連絡カード (患者用)**

患者さんやご家族が体調や心身の変化を記録したり、気づいたことや質問したいことをメモできる「連絡カード」です。患者さんやご家族と肝炎医療コーディネーターをつなげるコミュニケーションツールとして、是非ご利用ください。

●厚生労働省研究費補助金肝炎等ウイルス感染症研究事業「肝炎ウイルス感染症受療から受診、受療に至る肝炎対策の効率化と患者に関する研究」2019年12月30日版

**肝炎について**

**1 肝炎のごとで相談したいのですが…**

**A 肝炎医療コーディネーターに気軽に相談ください。**

●治療から生活まで、肝臓病に関わる全てを幅広くサポートする心強い存在です

現在、慢性肝炎から肝硬変や肝がんへ移行する人を減らすことを目標に、さまざまな活動や交流が進められています。その切り札のひとつに、自治体による「肝炎医療コーディネーター」<sup>(1)</sup>の養成があります。

肝炎医療コーディネーターは、看護師、保健師、薬剤師、ソーシャルワーカー、自治体職員、職域の健康管理者など、さまざまな職種の方が研修を受け、肝臓病の予防・発見から治療まで、患者さんやご家族のために多様なサポートをしています。

●どのような相談に乗ってくれますか?

健康診断で「肝炎の検査」と勧められても、何がわかるのかとか、その検査はどこで受けられるのかとか、なぜ受けた方がいいのかなど、わからないことはたくさんあります。

また病気になる、治療のこと、医療費のこと、今後の生活のこと、仕事のことなど、いろいろな悩みや困りごとに寄り添います。不安を抱えたままでは、検査や治療に対して躊躇してしまうこともあるでしょう。「誰かに相談しよう」という躊躇がなくなった<sup>(2)</sup>など。

※「肝炎コーディネーター」「肝炎サポーター」など、名称は自治体によって異なる場合があります。

●コーディネーター ポケットマニュアル ●5

**肝炎について**

病気のこととは、なかなか両面に相談しづらいものです。

「どうしよう」と悩んでいるときに、そっと背中を押してくれる存在だった

「病気のことだけではなく、いろいろな話を聞いてもらうことで精神的に支えてもらった」

「診察時間内では話しきれない悩みなどを聞いてもらえて助みになった」

「肝炎ということで介護施設への入居を断られそうになった際、施設の理解が得られるよう医療ソーシャルワーカーさんと連携して調整をしてくれた」

という声があるように、肝炎医療コーディネーターは、「身近にいる相談相手」として日常生活から療養生活まで幅広い内容をサポートする心強い存在です。

全国71か所の肝炎患者診療連携拠点病院内にある「肝炎患相談・支援センター」では、肝炎医療コーディネーターや相談員、肝臓専門医が、電話や面談で相談に対応しています。

その病院を受診していても無料で利用できますので、気軽にお問い合わせください。

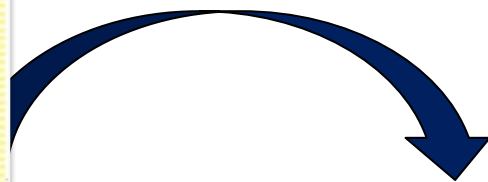
**肝炎患者診療連携拠点病院の「肝炎患相談・支援センター」を探す**

肝炎患 拠点 相談 @08

http://www.kaneri.ncgm.go.jp/cont/050/center.html  
 国立国際医療研究センター 肝炎情報センター

●6 厚生労働省研究費補助金肝炎等ウイルス感染症研究事業「肝炎ウイルス感染症受療から受診、受療に至る肝炎対策の効率化と患者に関する研究」2019年12月30日版

- ✓ 現場のニーズに応じて、白衣のポケットに収まるA6サイズ
- ✓ 拠点Hp専門医、患者会代表などで頻度の高い相談事項を解説
- ✓ カード形式：アップデートしやすい裏表で完結
- ✓ 医学的情報だけでなく、次のステップにつなげる制度概略や連絡先などを明記



配布先	展開施設数	部数
研究班 班員	20施設	5,207部
全国11行政・医療機関	11施設	638部
全国70拠点病院（佐賀県を除く）	70施設	3,570部
佐賀県		500部
全国行政・医療機関	17施設	2,800部

合計13,515部



## 療養手帳

この手帳は、文芸春秋社に医師や肝臓医療コーディネーターに相談するためのメモとしてもご利用ください。

### 執筆・監修

- 浅井 文和 国立国際医療研究センター 肝臓情報センター
- 池田 房雄 岡山大学病院 消化器内科
- 井出 達也 久留米大学医学部 消化器内科
- 大塚 紀子 佐賀県医療センター 消化器内科
- 小川 浩司 北海道大学病院 消化器内科
- 小野 正文 高知大学医学部附属病院 内臓腫瘍部
- 玄田 拓哉 順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科
- 小林 良正 浜松医科大学医学部附属病院 肝臓内科
- 坂本 慎 山梨大学医学部附属病院 肝臓センター・第1内科
- 野ツ保 和夫 福井県済生会病院内科 肝臓・消化器内科
- 日高 勲 山口大学医学部附属病院 肝臓センター
- 藤岳 夕歌 佐賀大学医学部附属病院 肝臓センター
- 本田 浩一 大分大学医学部 消化器内科
- 前城 達次 琉球大学医学部附属病院 第一内科
- 米澤 敦子 東京肝臓友の会

東京肝臓友の会 <http://tokankai.com/>  
 エーザイ株式会社 <https://www.eisai.co.jp/>

### 目次

- 肝がんの病期と肝障害度..... P. 4
- 肝がんの検査..... P. 7
- 肝がんの治療..... P.11
- 再発と転移について..... P.20
- 生活上の注意..... P.21
- わたしの療養生活の工夫..... P.23
- 肝がんと言われたあなたへ..... P.25
- 肝臓医療連携拠点病院 / 肝臓相談・支援センター..... P.26
- 肝臓医療コーディネーターとは..... P.27
- 肝がんに関する医療助成制度..... P.28
- 肝がん診療で用いられる主な血液検査..... P.29
- 現在服用している薬について..... P.31
- 次回、診療の時に伝えるための療養生活の記録..... P.33

## 肝がんの治療

### 治療後の経過観察

肝がんの大部分は、B型肝炎やC型肝炎、非(NASH)、アルコール性肝疾患などの長期にわたるから、がんが一度発生した肝臓には、再び肝がんがそのため、肝がんの治療後も定期的に腫瘍マーカー(エコー)検査、CTあるいはMRIなどの画像検査する必要があります。一般的には、外来通院で3~6ヶ月が適切です。



肝臓病の原因が肝炎ウイルスの場合には、肝がんウイルスに対する治療を行うことがあります。または栄養療法として分枝鎖アミノ酸 (BCAA) 製剤をBCAAは、栄養状態を改善したり、アンモニアを解肝臓の働きが落ちた患者さんに用いられます。

## 生活上の注意

### 日常生活について

肝がんはほとんど症状がないため、生活の質が落ちません。普段の生活を続けている方も大勢います。避けて規則正しい生活をしましょう。定期的な診察・検診を受けましょう。仕事を続けながら治療を行う方も増えていますが、仕事を続けようという、治療と仕事の両立利用できますので、担当医や肝臓医療コーディネーターと相談してください。

### 食事について

管理栄養士からあなたにあった食事指導を受けます。一般的には、栄養のバランスを考え、緑黄色野菜を多く摂りましょう。野菜や海藻にはビタミン・大豆製品には植物性タンパク質が含まれていて、目を狙って摂ります。また、飲酒は肝臓機能を悪くすることがあります。便通をよくするために食物繊維や、ヨーグルトなどの食品の摂取を心がけましょう。



## わたしの療養生活の工夫

### 家族の協力で開病できた (栄養指導で食事に工夫!)

- 60代男性
- C型肝炎から肝がんを発症

わたしは、薬剤によるC型肝炎の治療を行っていましたが、数回発症しました。いつかは肝がんになるかも知れないと覚悟はし、先生から告知を受けたときのショックは大きく、頭が真っ白になった開病には栄養状態や体力維持も必要不可欠とわかっていました。不安との戦いや日々の治療で精一杯です。このような状況の中で、妻や子供がわたしの代わりに栄養指導を受け、日々の食事の献立などを工夫してくれました。家族の協力があってこそ、治療が完遂できたと思っています。

### 患者会で思いを共有

- 60代女性
- B型肝炎から肝がんを発症

わたしは、肝がんの再発を何度も繰り返しており、治療の負担に悩まされています。家族に迷惑をかけていることを日々申し訳ないと感じていました。悩むはいたり、不安な心持を打ち明けられずにいました。そんなとき、病院の肝臓医療コーディネーターから患者会を紹介されました。思い切って参加してみようと思いました。一人ひとりの病状は違いますが、罹患者という同じ立場、同じ気持ちで、今まで言えなかった思いを言葉で話すことも、また、悩みを共有することで心が軽くなりました。このような機会を作ることには開病の支えとなりますし、1人で悩むのではなく、参加してほしいと思います。

## 肝がんと言われたあなたへ

### 肝がんと言われたあなたに、私たち肝がん患者からお伝えしたいことがあります

現在、66歳。C型肝炎が原因で60歳の時に直径2.8cmの肝がんが見つかりました。まだ慢性肝炎だと思っていましたが実際は代償性硬変。絶望感の中で様々な情報を集め、肝がんの治療、ウイルス抑制薬へ進みました。幸いにして現在まで再発はありません。大事なことは、治ると信じて強い気持ちを持って治療にあたること。これが免疫力をアップさせて病気に打ち勝つ力になると信じています。

55歳の時にC型肝炎とわかって7年目に1.5cmの肝がんが見つかり、本当に驚きました。肝臓治療を続けるにはがんを消さなければなりません。迷う暇もなくラジオ波でがんを焼灼。その後肝臓治療を行い6年経った今、ウツのように元気になりました。もし再発したら、薬で治るあまり痛くない治療にしたいと思っています。

わたしはB型肝炎患者です。60歳で最初に発がんし、9年間再発しました。肝動脈塞栓化学療法、ラジオ波焼灼療法、切除術で5個のがん治療を受けました。今もこうして元気になっているのは肝臓友の会の患者会からの情報に支えられ、適切な医療機関で治療を受けられたおかげです。肝がんになられた方にお伝えしたいことがあります。あなたも患者会に参加され療養の糧を得てほしいということです。

肝がんと言われ、落ち込んでおられるかもしれませんが、肝がんの治療方法はたくさんあり、私たちは治療後も元気です。ぜひ勇気を持って治療に向かっていただきたいと思います。

日本肝臓病患者団体協議会 (相談 ☎:03-5982-21)

## 肝がんに関する医療助成制度

### 高額療養費制度

医療費の家計負担が重くならないよう、医療機関や薬局の窓口で支払う医療費が1ヶ月(1日から月末まで)で上限額を超えた場合、その超えた額を支給する「高額療養費制度」があります。上限額は、年齢や所得に応じて定められています。また、いくつかの条件を満たすことにより、負担を更に軽減するしくみも設けられています。

### 精密検査・定期検査医療助成制度

肝炎ウイルス検査で陽性となった方が、精密検査や定期検査のために医療機関を受診する際の医療費を補助する制度です(自治体により対象となる所得制限がある場合があります)。

### 肝がん・重度肝硬変に関する医療助成制度(平成30年12月より)

肝炎ウイルスが原因で発症した肝がん・重度肝硬変患者を支援するため、平成30年度から医療費の助成制度が新設されます。新制度は年収など一定の要件を満たした肝がん・重度肝硬変患者の4ヶ月以降の入院医療費が対象で、自己負担が月額1万円に軽減される予定です。(1年間に何回も入院を繰り返している方も対象になる可能性がありますので、お問い合わせください。)

### 生命保険・医療保険について

公的医療保険以外の任意の生命保険や医療保険については、生命保険会社によって様々な商品が用意されています。肝がんがある状態での新規加入は困難なケースが多いと言われていますが、償後は加入できる商品もあります。現在、加入中の保険があれば、医療費負担が重くならないように活用しましょう。

詳しくはお住まいの都道府県の肝臓医療連携拠点病院にご相談ください。

# 「予防」「受検」「受診」「受療」「フォローアップ」で活用するリーフレットMAP



## ステップ1「受検」

肝炎ウイルス検査の受検率向上



陰性でも結果をきちんと伝える結果おぼえておいてください

### 肝炎ウイルス検査

検査を勧める

朗報！佐賀県在住の方無料で検査受けられます



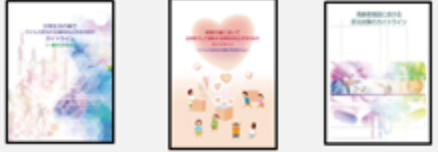
赤ちゃんの予防接種も必ずうけてね



肝炎に関する普及啓発 職域での妊婦さん普及啓発



生活習慣病肝ガン予防 訴訟関連



ターゲット別のマニュアル

肝炎に関する普及啓発

## ステップ0「予防」



陽性とわかったら

## ステップ2「受診」

行くのは今！ 保健医療機関での精密検査の受診勧奨



領収書と診療明細書は取っておきましょう

## ステップ3「受療」

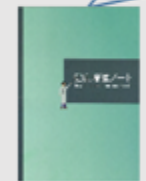
お仕事はされていますか 困っていませんか



肝がんの患者さんのために

検索

診の時は持ってきてね



専門医による治療導入方針決定

助成制度があります 療の流れをみてね

治療を勧める

新 C型治療費助成 B型治療費助成



治療は絶対途中でやめないで！！

# ② 拡充 肝炎医療Coはマトリックスごとの課題やニーズがある

延長線型

- ◆ 自治体の保健師
- ◆ 連携室の看護師、MSW

「業務の一環だから当然」  
「それとなく経過を聞く」

意識して  
いない

地域の肝炎対策で活動できている

- ◆ 病院の肝炎チームの幹部
- ◆ 拠点病院や肝臓専門医療機関の医療従事者

「陽性結果を一番最初に知るのは検査技師の自分」  
「医師のサポートのために数値を計算しておく」

ビッグイベント型  
ステルス型  
コツコツ型  
昇華型

自分はCoであると意識している

拠点や専門医による活動の支援が不可欠

- ・ 環境はどうか？
- ・ 機会はあるか？
- ・ 日常業務内で何が出来るか？

- ◆ 消化器・肝臓以外の病棟看護師
- ◆ 肝疾患に関わりの薄い所属の医療従事者

「研修は受けたんだけど肝炎に関わりがない」  
(と認識している)

幽霊部員型

- ◆ 外来・病棟看護師
- ◆ 上司や機関の理解が得られない医療従事者

「何かしたいけど、日常業務で追われている」  
「執行部における優先順位が低い」

モヤモヤ型

活動できていない



# 第55回 日本肝臓学会総会 メディカルスタッフセッション 記録集



会長 **持田 智** 埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科  
会期 **2019年5月30日(木)・31日(金)**  
会場 **京王プラザホテル** (東京都新宿区)

制作に関しては、日本肝臓学会関係各位および演者および指導医の皆様へ深謝申し上げます。



# メディカルスタッフセッション1

## 肝炎医療コーディネーター：各都道府県での実態と課題



### ポスター① P.10

- MP1-1 北海道における肝炎医療コーディネーター養成の開始 北海道大学病院消化器内科 小川 浩司
- MP1-2 青森県における肝炎医療コーディネーター制度開始と今後の展望 弘前大学医学部消化器内科 遠藤 哲
- MP1-3 山形県における肝炎医療コーディネータ養成の現状と課題 山形大学医学部附属病院肝疾患相談室 今野亜希湖
- MP1-4 当県における地域肝疾患アドバイザーの活動状況と課題 岩手医科大学附属病院看護部 高島みゆき

### ポスター② P.14

- MP1-5 当院における肝炎医療コーディネーターの活動実態と今後の課題 新潟大学医学総合病院患者総合サポートセンター／新潟大学医学総合病院肝疾患相談センター 廣川 光
- MP1-6 福井県における肝炎医療コーディネーター(Co)の実態と課題～養成と活動の両側面から～ 福井県済生会病院 橋本まさみ
- MP1-7 石川県における肝炎医療コーディネーターの実態と今後の展望 金沢大学附属病院消化器内科 島上 哲朗
- MP1-8 肝炎医療コーディネーターとしての薬剤師の関わり 金沢医科大学病院薬剤部 戸塚 弘幸

### ポスター③ P.18

- MP1-9 当県における肝炎医療コーディネーター制度の現状と問題点 群馬大学医学部附属病院肝疾患センター 中島 有香
- MP1-10 茨城県における肝炎医療コーディネーター活動の実態と課題 東京医科大学茨城医療センター肝疾患相談支援センター 會田美恵子
- MP1-11 千葉県及び肝疾患診療連携拠点病院での肝炎医療コーディネーターの活動と今後の課題 千葉大学医学部附属病院看護部 阿部麻由美
- MP1-12 当院におけるウイルス肝炎検査陽性患者の現状と受診勧奨システム運用について 獨協医科大学埼玉医療センター臨床検査部 小関 紀之

### ポスター④ P.22

- MP1-13 当院における埼玉県肝炎医療コーディネーター活動上での問題点・課題について 獨協医科大学埼玉医療センター臨床検査部 瀧沢 義教
- MP1-14 当院における肝炎医療コーディネーターの課題の変化について 上尾中央総合病院検査技術科 田名見里恵
- MP1-15 ウイルス肝炎撲滅に向けた院内連携における当センターの取り組み 自治医科大学附属さいたま医療センター臨床検査部 三ツ橋美幸
- MP1-16 埼玉県における肝炎医療コーディネーターの活動実態と課題 埼玉医科大学病院看護部 田山 智美

### ポスター⑤ P.26

- MP1-17 当院の肝臓病教室と肝炎医療コーディネーターにおける臨床検査技師の役割・関わり方 戸田中央総合病院臨床検査科 塚原 晃
- MP1-18 当院における肝疾患医療センターの活動と課題について 東海大学医学部付属病院患者支援センター総合相談室 佐藤 萌
- MP1-19 肝疾患コーディネーターの活動 山梨大学肝疾患センター 有菌 晶子
- MP1-20 静岡県における肝炎コーディネーター養成状況と実際の活動 順天堂大学医学部附属静岡病院看護部 谷 典子

### ポスター⑥ P.30

- MP1-21 岐阜県における肝炎医療コーディネーターの実態と課題 岐阜大学医学部附属病院肝疾患診療支援センター 山下知守枝
- MP1-22 肝炎ウイルス陽性患者の検査結果説明および受診勧奨・継続管理の取り組み 藤田医科大学病院肝疾患相談室 片岡 優実
- MP1-23 当院肝疾患相談室における肝炎医療コーディネーターの取り組み 愛知医科大学病院医療福祉相談部 服部名央未
- MP1-24 三重県における新規肝炎ウイルス検査陽性者の受診、受療促進に対する取り組み 三重大学医学部附属病院肝炎相談支援センター 長谷川浩司

# メディカルスタッフセッション1

### ポスター⑦ P.34

- MP1-25 肝炎医療コーディネーターとしての管理栄養士の役割 三重大学医学部附属病院栄養診療部 原 なぎさ
- MP1-26 肝炎ウイルスアラートシステムを介した肝炎ウイルス検査陽性者への肝疾患相談の重要性について 大阪医科大学附属病院広域医療連携センター 林 美加子
- MP1-27 肝疾患診療拠点病院としての看護師の取り組み 大阪市立大学医学部附属病院 南出 愛
- MP1-28 当県の肝炎医療コーディネーターの現状と課題 奈良県立医科大学附属病院奈良県肝疾患相談センター 村井麻里子

### ポスター⑧ P.38

- MP1-29 肝炎コーディネーターによる院内肝炎ウイルス検査陽性結果説明と肝臓専門医受診勧奨システムの構築 和歌山労災病院看護部 土山美恵子
- MP1-30 肝疾患専門医療機関における肝炎医療コーディネーターとしての薬剤師の取り組み 神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部 山本 晴菜
- MP1-31 兵庫県の肝炎治療コーディネーター育成における新たな方向性 兵庫医科大学内科学肝臓科 坂井 良行
- MP1-32 鳥取県肝炎医療コーディネーター養成の開始とその活動 鳥取大学医学部附属病院看護部 松本 彩

### ポスター⑨ P.42

- MP1-33 これからの肝炎医療コーディネーター活動に向けた課題～アンケート結果からの考察 島根大学医学部附属病院肝疾患相談・支援センター 黒松 浩美
- MP1-34 歯科を受診する患者に対する肝炎検診受検勧奨の工夫 岡山大学病院医療技術部歯科衛生士室 三浦 留美
- MP1-35 地域をつなぐ肝炎啓発活動【患者サロン肝臓病理教室】 岡山大学病院臨床栄養部 長谷川祐子
- MP1-36 特任肝疾患コーディネーターである病院管理栄養士としての使命 広島赤十字・原爆病院医療技術部栄養課 山根那由可

### ポスター⑩ P.46

- MP1-37 ひろしま肝疾患コーディネーターの現状と新たな取組 広島県健康福祉局業務課 三野 恵実
- MP1-38 市中病院における肝炎医療コーディネーターの活動報告 土台総合病院看護部 谷本 奏子
- MP1-39 広島県における肝疾患コーディネーター活動と今後の課題 広島大学病院看護部 河本 有花
- MP1-40 山口県における肝炎医療コーディネーター活動の状況 山口大学医学部附属病院看護部 増井美由紀

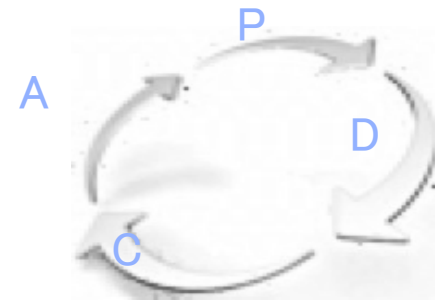
### ポスター⑪ P.50

- MP1-41 当院での肝炎相談支援センターの取り組み 香川県立中央病院肝臓内科 高口 浩一
- MP1-42 徳島県での肝炎医療コーディネーターの現状と活動について～多職種間のより綿密な連携を目指して～ 徳島大学病院患者支援センター肝疾患相談室 立木佐知子
- MP1-43 本県の「肝炎医療コーディネーター」の活動における独自の工夫と問題点について 高知大学医学部消化器内科学 小野 正文
- MP1-44 当院における肝炎医療コーディネーターの活動の現状と課題 愛媛大学医学部附属病院肝疾患診療相談センター／愛媛大学医学部附属病院看護部 藤原亜矢子

### ポスター⑫ P.54

- MP1-45 肝炎医療コーディネーターのモチベーションアップのためのスキルアップ研修の実施と効果 佐賀大学医学部附属病院肝疾患センター 矢田ともみ
- MP1-46 肝疾患コーディネーターについての取り組み 熊本大学病院肝疾患センター 野村 真希
- MP1-47 大分県における肝炎医療コーディネーターの活動状況と課題 大分大学医学部附属病院肝疾患相談センター 藤田 幸子
- MP1-48 当県における肝炎医療コーディネーター養成の現状 鹿児島大学病院肝疾患相談センター 小田 耕平
- MP1-49 沖縄県肝炎医療コーディネーターの実態と今後の課題 琉球大学医学部附属病院看護部 砂川 綾美

# 最終年度の展開



肝炎ウイルス検査受検から受診、受療に至る  
肝炎対策の効果検証と拡充に関する研究

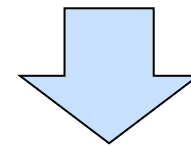


ただ送りつけただけでは、無関心自治体は未読スルー、既読スルー



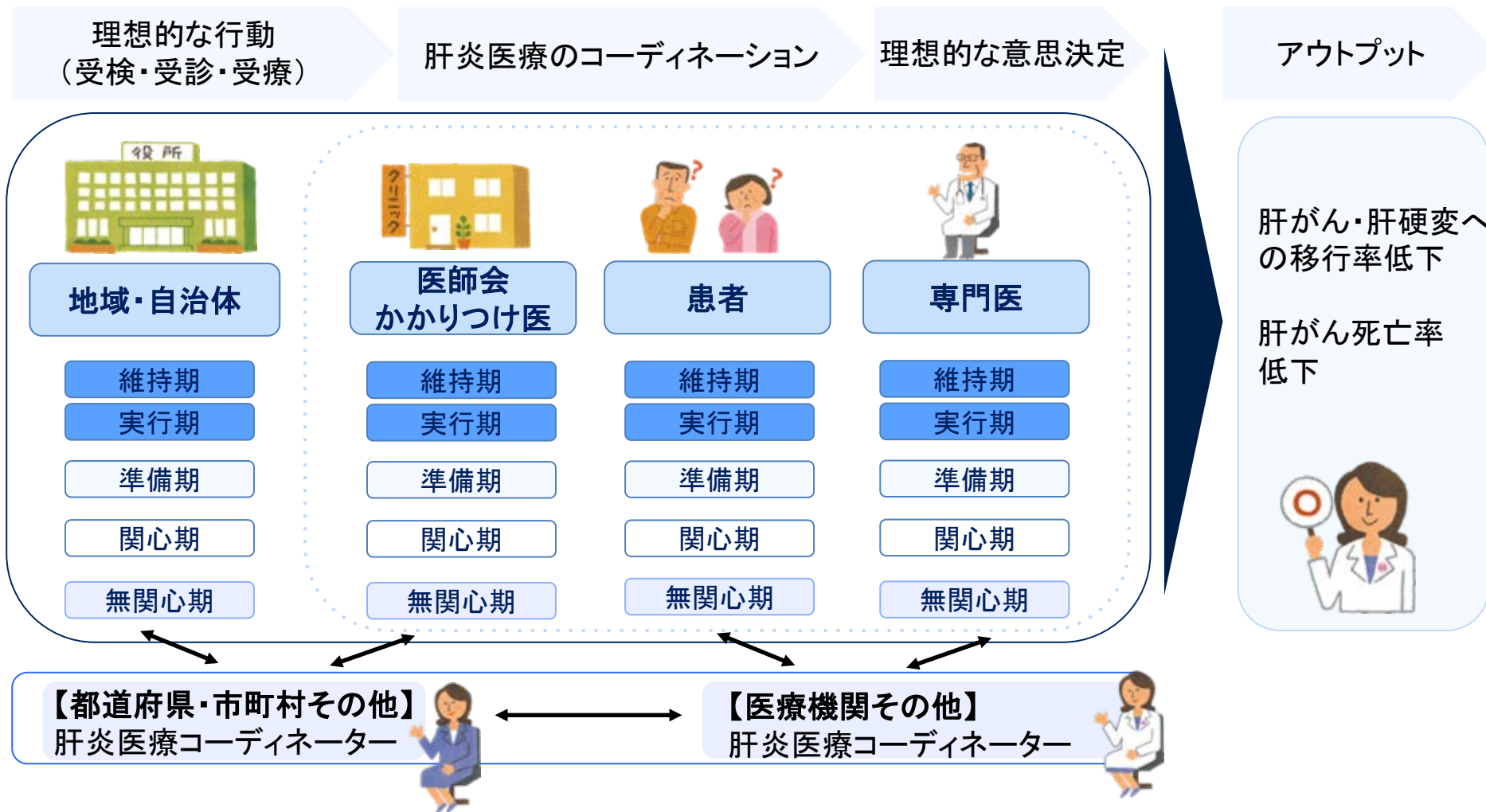
ニーズに対するきめ細やかな展開  
肝炎医療コーディネーター ポケットマニュアル カード追加へ

肝炎ウイルス検査受検から受診、受療に至る肝炎対策「これだけは」

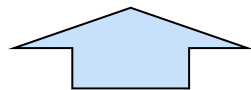


地域の肝炎対策「これだけは」

- 打ち手1：システムドライブの根拠としての「要項や取り決め」の均てん化
- 打ち手2：肝炎医療コーディネーターの支援によるボトムアップ
- 打ち手3：自治体、専門医によるボトムダウン



# 地域の肝がん・肝硬変を撲滅するために、人や組織を機能させる



## 人的資源管理 (HRM : Human Resource Management)

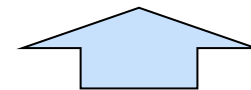
組織の仕組みで機能させる

**(1) HR (Human Resource)ポリシー :**  
組織理念をもとに戦略を遂行し、ビジョンを実現していくために、組織と人がどうあるべきかを示すもの。

**(2) 組織構造 :**  
HRポリシーに基づいて、個々の構成員を組み合わせて戦略を遂行する。

**(3) HRシステム :**  
HRポリシーに基づいて、個々の構成員をどのように活用していくかを定める。HRシステムはさらに「人員配置」「報奨」「評価」「能力開発」に分けられる。

**(4) 組織文化 :**  
組織構成員が共有する信念、価値観、行動規範の集合体。



## 組織行動論 (OB : Organizational Behavior)

個人の取り組みで機能させる

**(1) 個人、集団、組織 :**  
人の行動は、「個人」か、「集団」(目的を持った個人の集合)か、「組織」(目的を持った集団の集合)かによって異なってくる。それぞれの特徴を理解しておくことが、マネジメントを行ううえで重要。

**(2) 認識、行動 :**  
人や組織に働きかけるときには、まずその場の状況を認識し、それから自分がとるべき行動と、それが他者や組織に与える影響について十分に考慮したうえで行動を起こす必要がある。「行動」の前には必ず「認識」というステップを踏むことが重要。

# 専門医、医療機関管理者向けの読みやすさを重視したハンドブックを作成（A4、20ページ「もしもシリーズ」3部作の1作目）



CONTENTS		
前書き	肝炎医療コーディネーターの活動は宝の山 ポテンシャルの発揮は医師次第	3
第1章	肝炎医療コーディネーターの役割と位置付けを知る 肝炎医療コーディネーターとは	4
第2章	医師をサポートすることによる患者さんにとってのメリット	9
第3章	病院にとってのメリット	11
第4章	信頼関係の築き方 モチベーション向上のコツ 肝炎医療コーディネーターを輝かせるための心得	13

3,660部配布済

# 行政職員向けの読みやすさを重視したハンドブックを作成（A4、12ページ「もしもシリーズ」3部作の2作目）

## もしも行政職員が 肝炎医療コーディネーターを 養成することになったら

厚生労働科学研究費補助金 肝炎等克服政策研究事業  
肝炎ウイルス検査受検から受診、受療に至る肝炎対策の効果検証と拡充に関する研究  
研究代表者 江口有一郎

# HEPATITIS CO

### はじめに

行政職員として日々公務に従事している皆さん、新しい異動先で突然「来期から肝炎医療コーディネーターの養成をよろしく」と言われたらどうしますか？養成する側としてのどのように行動すればよいか見当が付きにくく、「困ったなあ」と及び腰になってしまう方も少なくないと思います。

2019年時点ですでに47都道府県で養成が開始され、全国で1万人を超える肝炎医療コーディネーターが養成され、コーディネーターの存在や役割は全国的に周知されつつありますが、都道府県によって取り組みや活躍は、様々であることがわかっています。

そこで都道府県や市町村の行政側の肝炎患担当者の方々に読んでいただきたく、養成担当に就任した行政職員がまず何から始めたらよいのかを日常業務に密接に関係する具体例を盛り込みながら小説仕立てで、基礎から習得できるように冊子にまとめました。もしも行政職員が肝炎医療コーディネーターを養成することになったとしても慌てることのないように。本冊子をガイドブックとしてご利用いただければ幸いです。

### 目次

はじめに	2
prologue プロローグ	3
step 1 ステップ1	5
働きかける対象を知ろう まずステークホルダーへの アプローチからスタート	
step 2 ステップ2	6
肝炎医療コーディネーター養成の要綱を理解しよう 都道府県ごとの実情に即して要綱を作成	
step 3 ステップ3	8
対象者に対する具体的な取組み 対象の職種と講習会の周知方法 肝炎医療コーディネーターの 養成や活用で良かったこと	
epilogue エピローグ	11

# 肝炎と診断された患者さん向けの読みやすさを重視したハンドブックを作成（A5、8ページ「もしもシリーズ」3部作の3作目）

## もしも 肝臓病と言われたら…

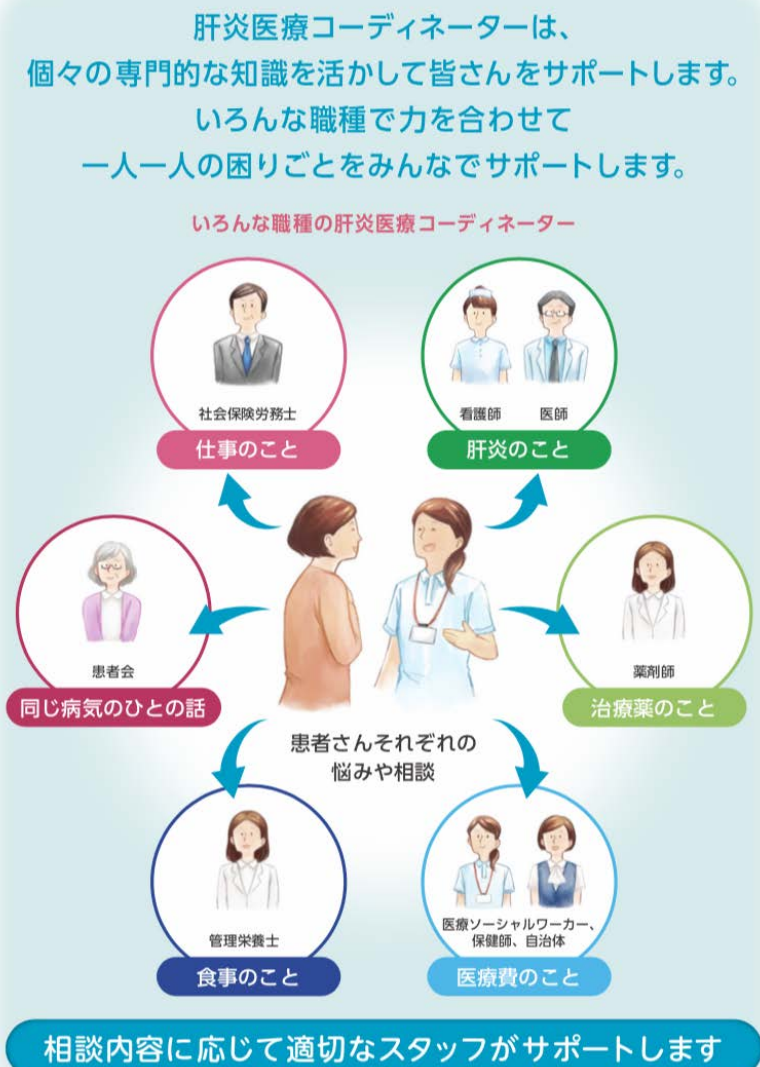
～患者さんたちからのメッセージ～



もしあなたが肝臓病と言われたらどうしますか。  
 放っておきますか、それとも専門の医療機関を受診しますか？  
 その答えは迷うことなく「すぐに受診」して、必要であれば「すぐに治療」です。  
 本冊子は肝臓病の患者さんたちの体験談にもとづいて作成しました。  
 体験した人だからこそ言えることや  
 具体的な行動指針、相談方法などをまとめています。  
 あなたとご家族の将来のために、ぜひメッセージを受け止めてください。

厚生労働科学研究費補助金 肝炎等克服政策研究事業  
 肝炎ウイルス検査受検から受診、受療に至る肝炎対策の効果検証と拡充に関する研究

研究代表者 江口 有一郎



肝炎医療コーディネーター  
ここにいます！  
なんでもご相談ください。



ひとりで、  
戦わないで。

肝炎医療コーディネーター  
ここにいます！  
なんでもご相談ください。



ひとりで、  
戦わないで。

治療費はいくらかかるの？  
どこの病院に行けばいい？  
長く通院することになる？  
家族に影響しないのかな？  
仕事を続けながら治せる？  
保険は効く？助成はある？  
どんな薬？苦しくはない？  
勤め先にどう言えばいい？  
誰か相談できる人は……

肝炎医療コーディネーター  
ここにいます。



ひとりで、  
戦わないで。



佐賀県 肝炎医療コーディネーター

肝臓 元気

佐賀県 健康増進課 ○○○担当  
TEL 0900-00-0000 FAX 0900-00-0000  
佐賀県佐賀市○○○○○○○○  
Mail: xxxxxxxxx@xxxxxxxxxxxxxx

ひとりで、  
戦わないで。

肝炎でお悩みの方へ



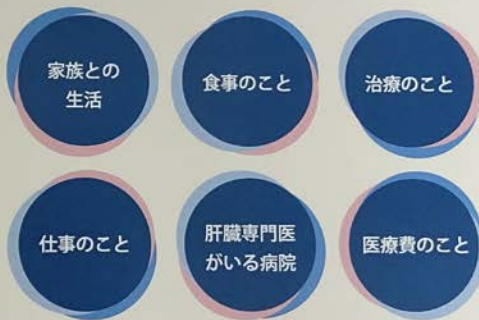
肝炎医療コーディネーター  
ここにいます。

受付にこのカードをお見せくだされば、ご紹介します。

ひとりで、  
戦わないで。

ご心配なことはなんですか？裏面をご覧ください。

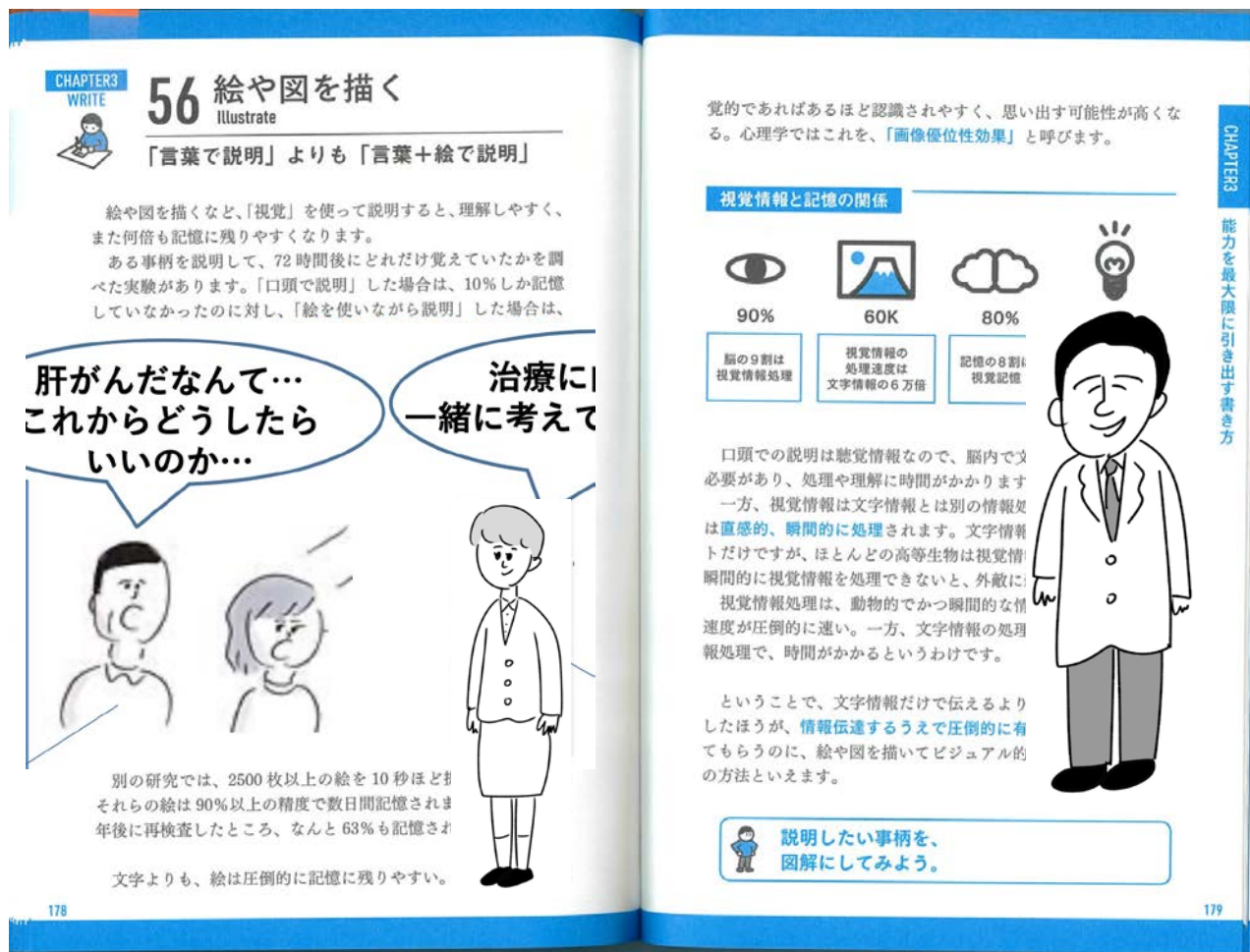
気になること、なんでもご相談ください。





# 「一目でわかる！ 肝炎医療コーディネーターこれだけは」教本

- ・ 体裁A5サイズ、見開きで1項目（およびスマホレイアウト）、100～150ページ
- ・ A5見開きにフォントサイズ10ポイントで、1700字程度。



# 各チャプター

- ・ 体裁A5サイズ、見開きで1項目（およびスマホレイアウト）、100～150ページ
- ・ A5見開きにフォントサイズ10ポイントで、1700字程度。

- ① 肝炎医療コーディネーターって何？
- ② 肝炎医療コーディネーターが知っておくべきこと
  - i. 行動経済学1（プロスペクト理論）
  - ii. 行動経済学2（先延ばし）
  - iii. 行動経済学3（ナッジ、リバタリアン・パターンリズム）
  - iv. ソーシャルマーケティング手法を理解してストレスフリーなコミュニケーション
- ③ 肝炎医療コーディネーターの役割とコツ
- ④ 個人としてのCo活動：職種や立場を最大限の強みとして活動するには？
- ⑤ 地域の一員としてのCo活動：各地の課題解決を視野においた活動事例

PDFで配布予定（好評であれば、書籍化へ）

# まとめ

1. 都道府県、市町村に肝炎ウイルス検査受検およびフォローアップにおける肝Coの実態について初めて47都道府県への独自調査を実施し、都道府県の共通項目および差異を解明し、提言書を作成した。
2. 全国レベルで臨床現場の肝Coに質的および量的調査を実施し、ニーズを解明し、活動支援のためのマニュアルや動画教材を含むポータルサイト、活動支援の中心となる肝臓専門医に対する肝Co活動支援のためのポケットマニュアル、専門医、行政、患者向けの啓発書籍、活動支援ツール、肝Co向け教本を作成した。
3. 上記の成果物を47都道府県や市町村、また全国拠点病院、肝炎情報センターを通じて、全国の肝Co、一般向けの展開を行った。
4. それらの手法を海外への技術移転として、モンゴル国での肝Co養成と活動支援を同国保健省を通じて開始した。

# 課題

1. ポータルサイトの継続的な拡充と活用効果の測定。
2. 成果物の追加制作（教本、ポケットマニュアル、ハンドブック、啓発ツールや自治体への提言など）と全国展開、効果測定。
3. 上記の成果物の効果的な活用等に加え、全国の地域の特性や課題を鑑みた新たな養成やスキルアップ手法の開発と展開と効果測定。
4. 非ウイルス性肝疾患等への受検・受診・受療を円滑に進める手法の開発と肝Co活動方法の開発。

## 各資材に関するお問い合わせ

研究班ポータルサイト

<https://kan-co.net>

佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター

[sagankan@gmail.com](mailto:sagankan@gmail.com)

江口有一郎

[eguchiyu@me.com](mailto:eguchiyu@me.com)